



第 1 回 総合的英語力評価推進ワーキンググループ説明資料

実施主体名: IDP:IELTS Australia

テスト名: IELTS(アイエルツ)

①実施している英語資格・検定試験の概要

-IELTS の概要

IELTS(International English Language Testing System)は、米国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、および英国を含む英語圏の国々に留学、就労または移住を希望する人々の英語力を測定する、ハイスタークスの英語 4 技能試験です。2017 年には全世界で 350 万以上の人々が受験しており、IELTS を認定している機関は世界中に 11,000 以上あり、日本の大学入試でも IELTS を活用する大学は年々増えている。

-IELTS の受験方式

IELTS は「ペーパー版」と「コンピューター版」の 2 つの受験方式から選んで受験が可能。いずれの方式でも、試験内容、評価基準、難易度は同じであり、大学や移民局等は両方式の結果を同等に受理している。

-IDP:IELTS Australia の日本での試験実施状況

実施エリア:

東京・大阪・福岡・札幌の4か所に公式のテストセンターを構え、全国で試験実施を行っている。

2021 年 12 月現在、定期試験開催があるエリアは以下の通りである。

札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡、北九州、那覇

実施頻度:

IELTS ペーパー版は年間 36 回前後(毎月 3 回程度)

IELTS コンピューター版は東京(2 会場)と大阪(2 会場)にて、毎週複数回

試験日程・会場情報:<https://ieltsjp.com/japan/test-dates>

②現在の取り組みに関して

-地理的・経済的な事情への配慮

IELTS の受験機会が無いまたは少なく、東京や大阪への移動を余儀なくされている地方の受験生の負担を軽減すべく、試験会場の拡大に努めている。2020 年からは札幌市にテストセンターを開設し、道内で毎月試験を実施している。2021 年 11 月より、沖縄県那覇市に試験会場を設置。

-オンライン受検システムの整備

IELTS を共同運営する、我々IDP とブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ英語検定機構の 3 団体で、自宅等で受験可能な IELTS オンライン版 (IELTS online) を開発し、全世界での運用を目指して取り組んでいる。日本での実施は 2022 年の予定。

-高校会場の拡充について

IELTS としては試験会場の使用に関して非常に厳しい基準を設けており、これらの基準を高校で満たすところは現時点で少ない。仮に基準を満たした場合でも、早朝 7 時から終日複数の教室の利用や、校内での人の流れの制限等、学校側にも大きな負担を考慮し、現時点では積極的に高校会場の拡充には取り組んでいない。

-障害のある受験者への合理的配慮の推進

IELTS は原則すべての障害者への配慮を行っている。

関連サイト: <https://ieltsjp.com/test-guide/special-requirements/>

-成績提供の利便性の向上について

IELTS ペーパー版で受験した場合は試験日より 13 日後に、IELTS コンピューター版の場合は 3~5 営業日後に試験結果を開示し、数日以内に国内テストセンターから受験生に試験結果を郵送しているため、受験後約 2 週間で成績が手元に届く。

また、大学が IELTS の認定機関の登録を行えば、成績証明書をオンラインで受領し、閲覧することも可能。

関連サイト: <https://ieltsjp.com/ielts-recognising-organisation/>

-問題集の出版などを含む試験実施団体内部での利益相反等に関する問題への対応のあり方について

2021 年 12 月現在、IDP としては問題集の出版は行っておらず、無料の試験対策ツールを公式サイトにて提供している。

関連サイト: <https://ieltsjp.com/study-for-ielts/>

-各試験の質や水準等に関する第三者評価のあり方や調査研究の実施

IELTS は英国政府の資格・試験監査機関である Ofqual により第三者評価が行われている。

Ofqual の関連サイト:

<https://www.gov.uk/government/organisations/ofqual/about>

IELTS に関する調査研究は 30 年にわたって行われており、IELTS の公式サイトにて、様々な研究結果や論文を公開している。

関連サイト: <https://www.ielts.org/for-researchers/research-reports>